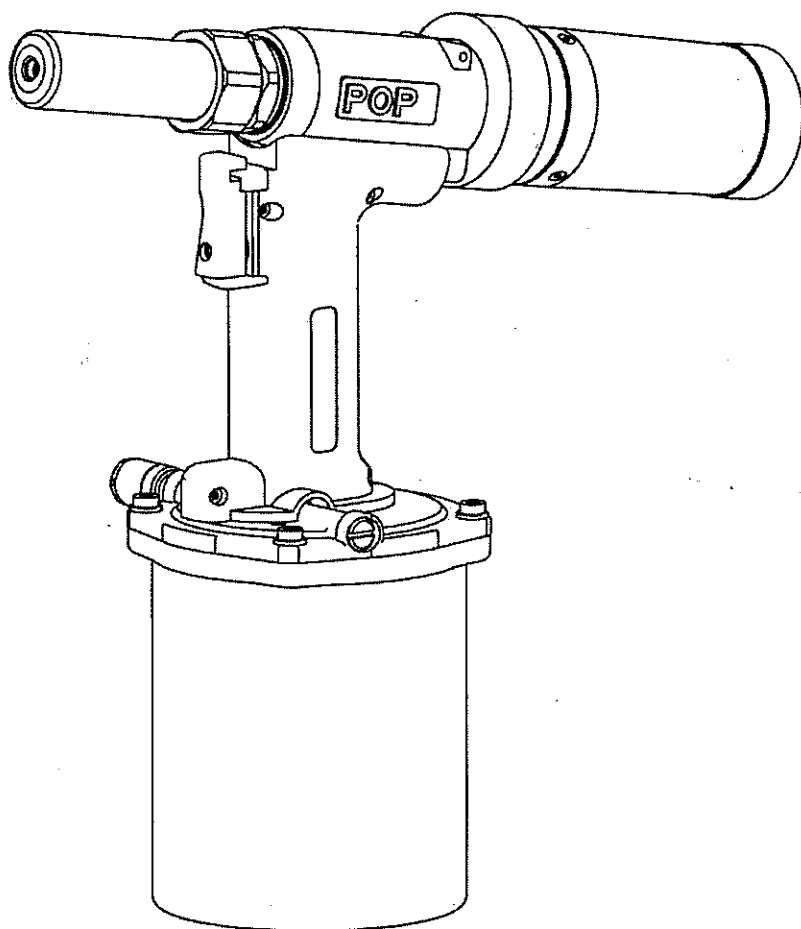


STANLEY.
Engineered Fastening

リベットツール
ProSet3400-HC
取扱説明書



本機はポップリベット専用リベットツールです。
ご使用になる前に本取扱説明書を必ずお読みいただき、記載事項に基づき正しくご使用ください。
また、本取扱説明書は、実際に使用される方がいつでも見られる場所に保管してください。

ポップリベットファスナー株式会社
NIPPON POP RIVETS AND FASTENERS LTD.

POP  **Avdel**



目 次

安全上の注意事項	1
1. 各部の名称	3
2. 概要	4
3. 仕様(寸法図)	5
4. 使用前の準備	6
5. 使用上の注意事項	8
6. 使用方法	9
7. 保守・点検	11
8. トラブルシューティング	17
9. オプション	21
10. パーツリスト	23
11. 分解図	25

安全上の注意事項 (1/2)

●ご使用になる前にこの「安全上の注意事項」すべてをよくお読みの上、取扱説明書の指示に従って正しくご使用ください。

●注意事項には下記の区分があります。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項です。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、及び物的損害の発生が想定される事項です。

●お読みになった後は、実際に使用される方がいつでも見られる場所に保管してください。

●本機は適正なポップリベットの締結のみにご使用ください。

(リベットの選定は、ポップリベットのカatalogをご参照ください。)

警告

1. 使用空気圧力は、0.5～0.6MPaにてご使用ください。
◇使用空気圧力を超えて使用した場合、本機が破損し、事故や傷害を負う恐れがあります。
2. 人に向けての本機の使用、操作は行わないでください。また、本機を前方及び後方からのぞかないでください。
◇リベット及び破断したマンドレルが飛び出し、事故や傷害(失明等)を負う恐れがあります。
3. 使用中は保護めがね(JIS T8147 規格品)を着用してください。
◇リベット及び破断したマンドレルが飛び出し、事故や傷害(失明等)を負う恐れがあります。
4. 必ず損傷のないコレクタを取り付けてご使用ください。
◇破断したマンドレルが飛び出し、事故や傷害(失明等)を負う恐れがあります。
5. ご使用前に各部の損傷がないかを確認し、損傷があった場合は使用を止め修理に出してください。
◇損傷のある状態で使用すると、事故や傷害を負う恐れがあります。
6. 圧縮空気供給部の接続は確実に行ってください。
◇接続部のねじがあわなかったり、ねじの入りしろが不十分な場合、使用中にカブラ、ホース等が外れて事故や傷害を負う恐れがあります。

※各部の名称についてはP. 3をご参照ください。

安全上の注意事項 (2/2)

⚠ 注意

1. 本機の保守、部品交換等での分解／組立時は、カブラを分離する等により、必ず圧縮空気の供給を止めてください。
◇圧縮空気が供給された状態で分解／組立を行うと、部品の飛び出し、オイルのふき出し、予期せぬ動き等により事故や傷害を負う恐れがあります。
2. フィルスクリュをしっかりと締め込んだ状態でご使用ください。
◇フィルスクリュが緩んでいたり外れた状態で使用すると、オイルがふき出し、事故や傷害を負う恐れがあります。
3. アンビルを外した状態で、操作しないでください。
◇指をはさむ等、傷害を負う恐れがあります。
4. 当社より供給された部品、または推奨された部品のみをご使用ください。また、お使いになるリベットに適合した部品を取り付けてご使用ください。
◇十分な性能が発揮できないだけでなく、異常動作等により事故や傷害を負う恐れがあります。
5. 当社に無断で本機を改造しないでください。
◇異常動作等により事故や傷害を負う恐れがあります。
6. 本機の保守は、機能・機構を理解された適任者にて実施してください。また、その場合も取扱説明書の指示に従い、充分注意して作業をしてください。
◇保守の知識、及び技術のない方が実施されますと十分な性能が発揮できないだけでなく、事故や傷害を負う恐れがあります。
7. 本機の修理は当社にお申し付けください。
◇修理は必ずお買い求めの販売店または当社にお申し付けください。
修理の知識、及び技術のない方が実施されますと十分な性能が発揮できないだけでなく、事故や傷害を負う恐れがあります。
8. ハンドルの握りの部分は常に乾いたきれいな状態を保ち、油やグリス等の付着のないようにしてください。
◇手が滑り本機を落とす恐れがあります。
9. 破断したマンドレルを床に散らかさないようにしてください。
◇破断したマンドレルは先が尖っている為危険です。また、上に乗った場合滑りやすく、転倒等の恐れがあります。
10. コレクタボディ(材質はポリカーボネートです)には、有機溶剤を付着しない様にしてください。
◇上記部品の破損により、部品などが飛び出し、事故や障害を負う恐れがあります。
11. 排気口からの排気にご注意ください。
◇排気口から勢いよく霧状の空気が排気される場合がありますので、顔(特に目)を近づけないでください。また、排気により付近の物を汚す恐れがありますのでご注意ください。

〔 主に、供給される圧縮空気の状態により、油分、水分等を含んだ霧状の空気が排出されることがあります。 〕

※各部の名称についてはP. 3をご参照ください。

1. 各部の名称

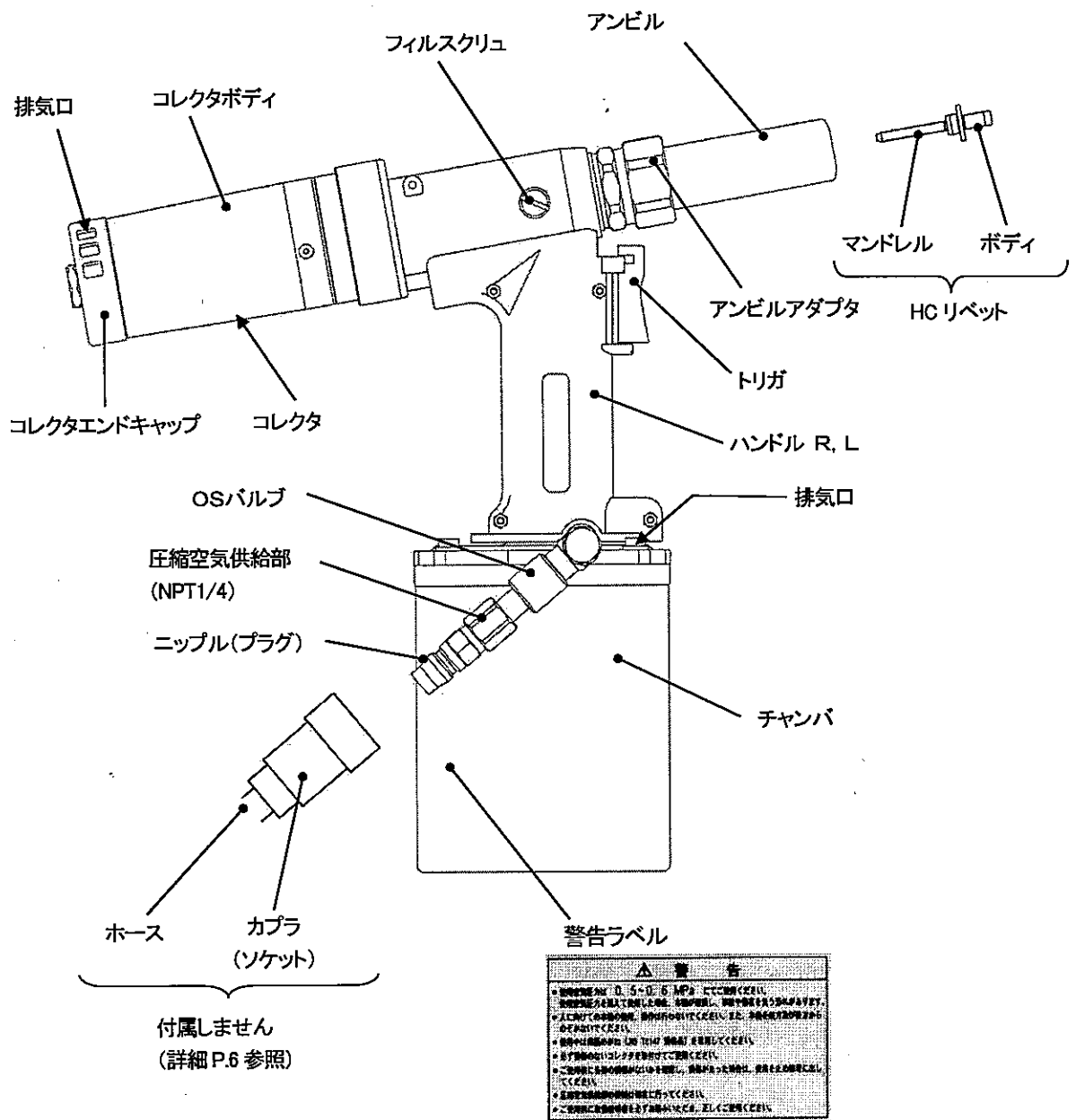
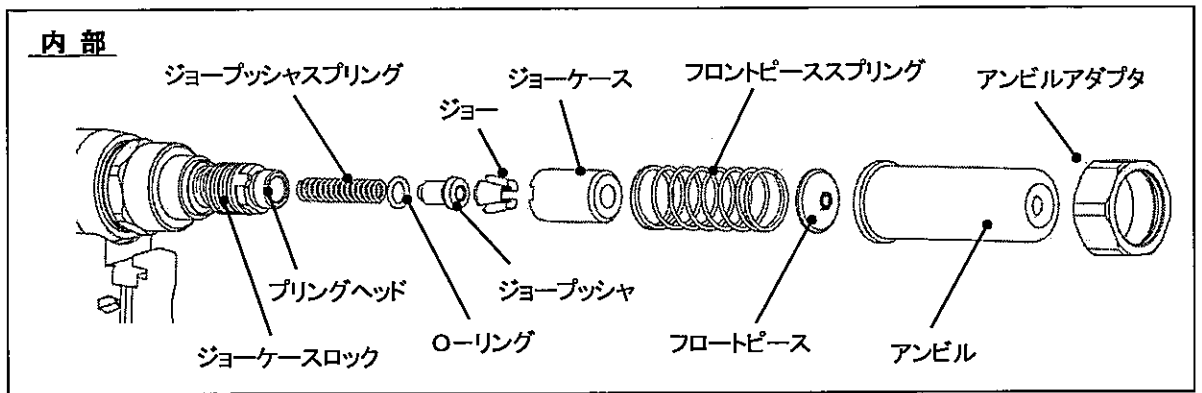


図 1-1

2. 概要

ProSet3400-HC は空油圧式の HC リベット用ツールです。MCS(マンドレルコレクションシステム)を標準装備しており、締結後の破断マンドレルをコレクタ内に吸引回収します。

※締結する際は必ず母材に締結し、空打ちは絶対に行わないでください。

リベットがアンビルに噛み込む恐れがあります。

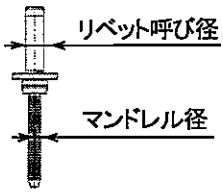
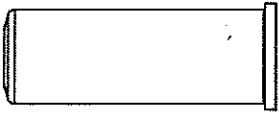
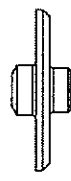
もし噛み込んでしまった場合は P18「HC リベット がアンビルに噛み込んだ場合」を参照し取り外して下さい。

締結可能リベット及び適合アンビルは(表2-1)の通りです。

適合表内の部品のみを使用して下さい。

異なった部品を使用するとリベットの締結不良やツール故障の原因となります。

(表2-1)締結可能リベット及び部品適合表

リベット			アンビル		フロートピース	
						
呼び径 (φ mm)	リベット品番	マンドレル径 (φ mm)	品番	備考	品番	備考
5.2	SHC-52M**	3.4	TP153-003	標準	TP154-039	標準

3. 仕様(寸法図)

型 式	ProSet3400-HC
重 量	2.1 kg
全 長	327 mm
全 高	317 mm
ストローク	21mm(アンビル未装着時 26mm)
使用空気圧力	0.5~0.6 MPa
空気消費量	6.3 L/リベット + 80 L/min(MCS)
引力	15.3 kN(0.5MPa)
締結可能リベット	SHC-52M**

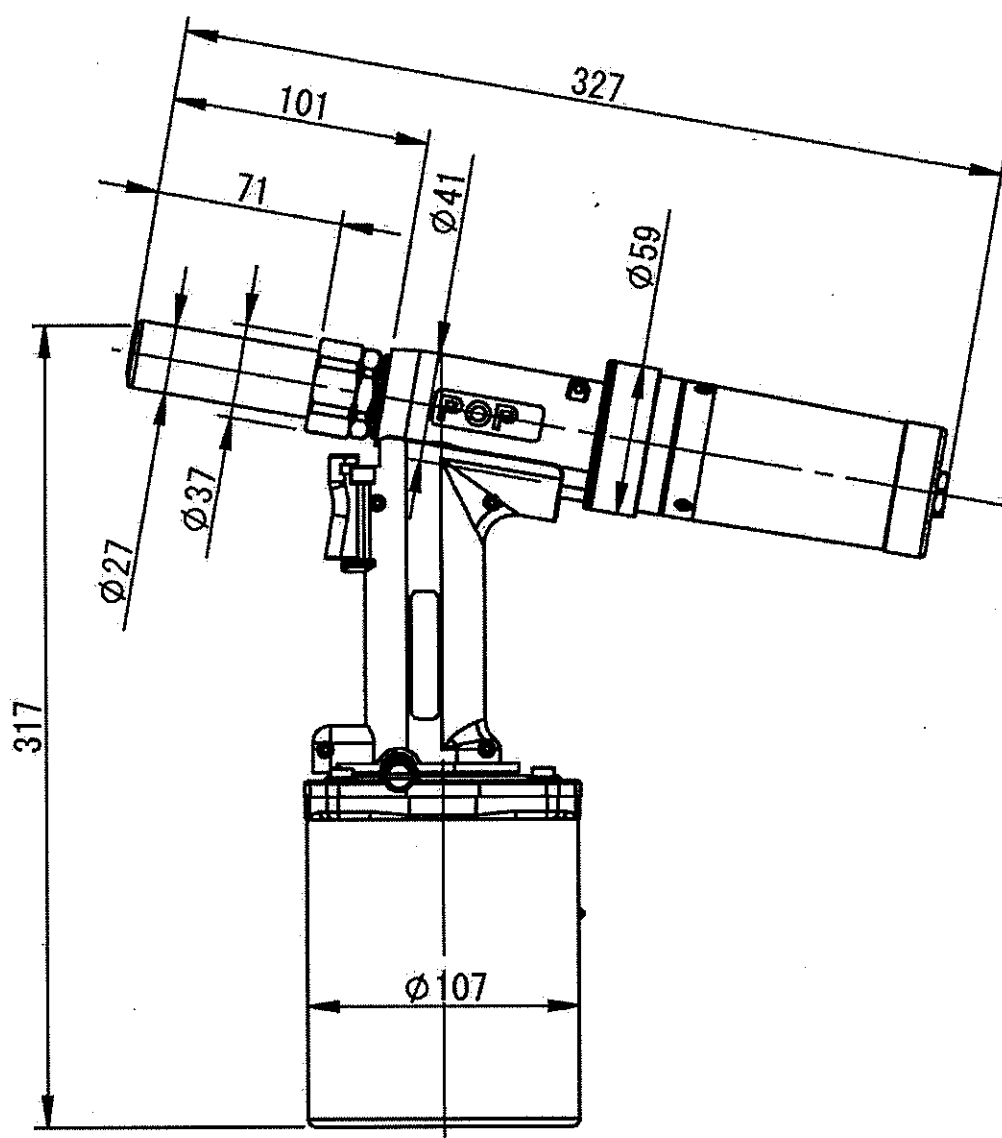


図3-1

4. 使用前の準備

- (1) 使用リベットに適合したアンビルが取り付けられているか確認してください。
 適合しない部品が取り付けられている場合は、適合する物に交換してください。
 (P.4 表2-1)
 ※交換方法については、P.12をご参照ください。
- (2) リベットツールの圧縮空気供給部にニップルを取り付け、圧縮空気を供給してください。なお、コンプレッサとリベットツールの間には、エアフィルタとレギュレータを取り付け、供給空気圧力を0.5~0.6 MPa に調整してください。

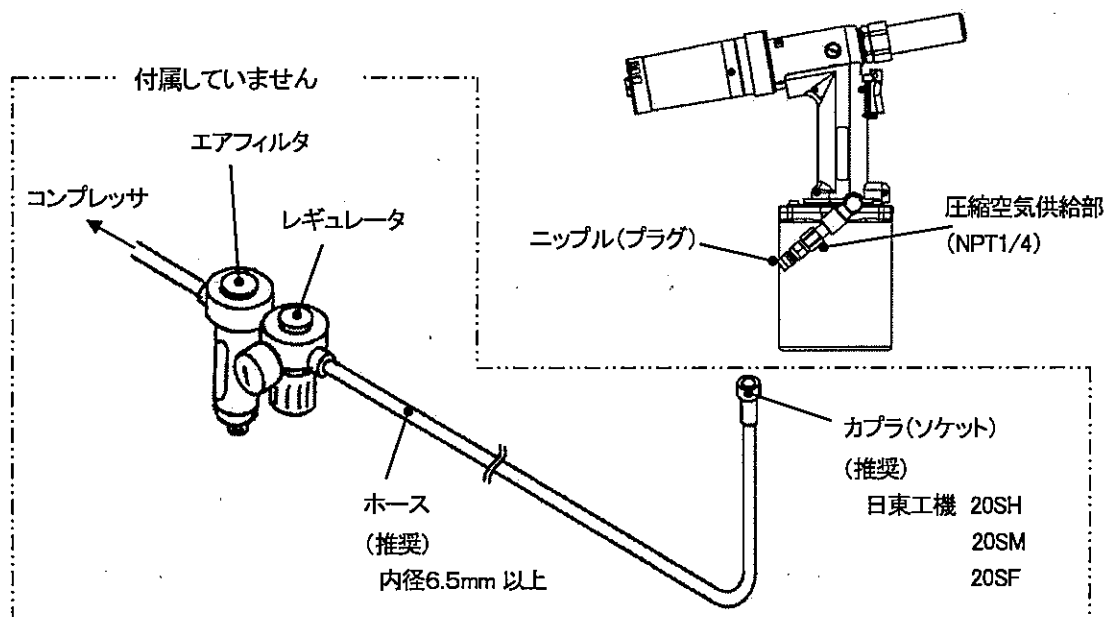


図4-1

警告 ホースは、実際の使用温度において、常温(最高)使用圧力が0.7MPa 以上の物をご使用ください。また、使用環境に合った(例:耐油性、耐摩耗性等)ホースをご使用ください。※詳細は、ホースメーカーのカタログをご参照ください。

- (3) コレクタが確実に装着されているか確認してください。確実に装着されていない場合は、コレクタを右に回し、確実に装着してください。
 (図4-2)

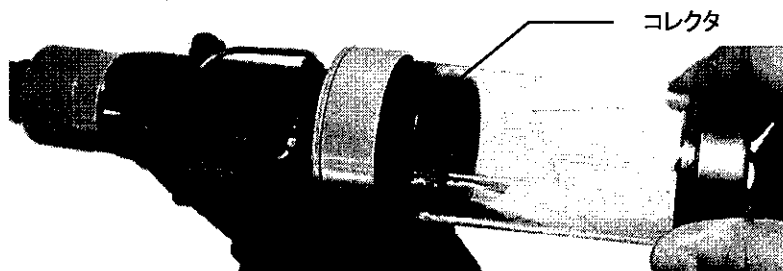


図4-2

(4) 締結作業を行わない時の圧縮空気の消費をなくす為、圧縮空気の供給を簡単に停止させるOSバルブが付いています。

<使用方法>

- ① 圧縮空気を供給する。(OSバルブを開く)(図4-3)
- ② 圧縮空気の供給を止める。(OSバルブを閉じる)(図4-4)

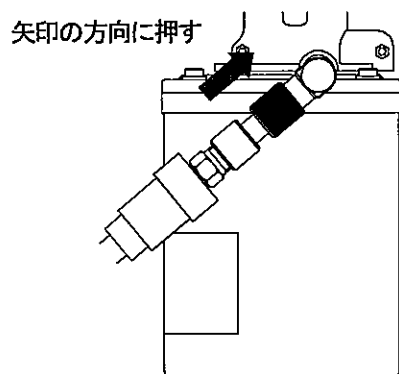


図4-3

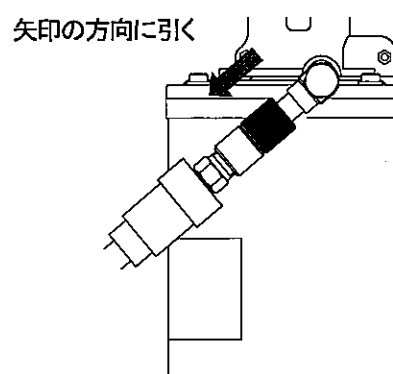


図4-4

5. 使用上の注意事項

(1) 使用空気圧力

使用空気圧力は、0.5～0.6 MPa にてご使用ください。

使用空気圧力を超えて使用した場合、本機が破損し事故や傷害を負う恐れがあります。また、使用空気圧力以下の場合はリベットを締結できない場合があります。

適正な空気圧力へ調整する為にレギュレータを使用してください。(P.6)

(2) エアフィルタの使用

圧縮空気中に水分やゴミが含まれるとリベットツールの寿命に影響します。エアフィルタを使用してください。

(P.6)

(3) アンビル

使用リベットに適合したアンビルを使用してください。(P.4 表2-1)

適合しない物を使用すると、正常に締結できません。

※交換方法については、P.12をご参照ください。

(4) 油圧オイル

指定の油圧オイルを使用してください。

油圧オイルは表5-1の中から選んで使用してください。これ以外のオイルは故障の原因になります。

(表5-1) 指定の油圧オイル

会社名	品名
出光興産	ダフニーハイドロリックフルイド 68
エクソンモービル	モービル DTE 26
	テレツソ 68
コスモ石油	コスモオルパス 68
新日本石油	FBK RO68
昭和シェル石油	シェルテラスオイル C68

(5) マンドレルの廃棄

コレクタ内に回収されたマンドレルは収容能力内(P.10 表6-1参照)で廃棄してください。

収容能力を超えて締結した場合、締結作業が継続できないだけでなく、MCSの破損やマンドレルの詰まりが生じる恐れがあります。

(6) コレクタの扱いについて

コレクタボディはポリカーボネート製です、有機溶剤をつけないでください。有機溶剤をつけると変質、破損をまねく恐れがあります。

洗浄する場合は中性洗剤を使用してください。

6. 使用方法

6-1 締結作業

締結作業は コレクタを装着して行ってください。

(P.6 4 (3)項参照)

- (1) アンビルにマンドレルを差し込みリベットを装着した後、母材下穴にリベットのボディを挿入してください。

(図6-1)

〔リベットは、MCSによりアンビルに吸着します。〕

または、リベットのボディを母材下穴に挿入してから、リベットツールを持っていきアンビルにマンドレルを差し込んでください。

(図6-2)

- (2) リベットツールを母材に対し垂直に押しあて、締結される母材同士、リベットのフランジ及びリベットボディとアンビルの各々が密着した状態にて、トリガを引いてください。

マンドレルが破断し、リベットが締結されます。

(図6-3)

⚠ 注意

母材の無い状態で締結作業を行わないで下さい。
締結したリベットがアンビルに噛み込む可能性があります

- (3) 締結後トリガを離すと母材とリベットのヘッドが蹴りだされ、コレクタ内に破断したマンドレルが回収されます。

(図6-4)

(注) コレクタ内に回収されたマンドレルは、コレクタの収容能力内で廃棄してください。

(P.10 参照)

- (4) マンドレルの回収を確認した後、次の締結に移ってください。

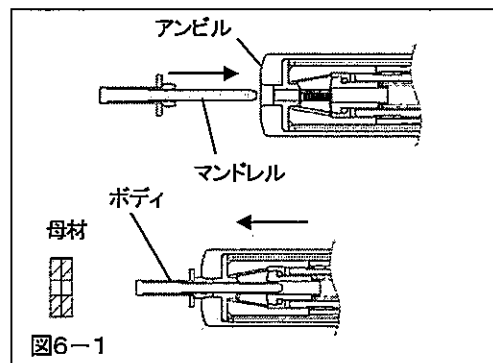


図6-1

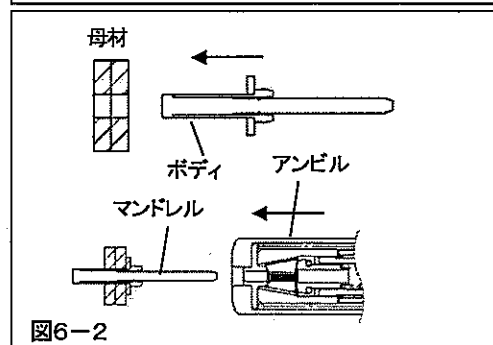


図6-2

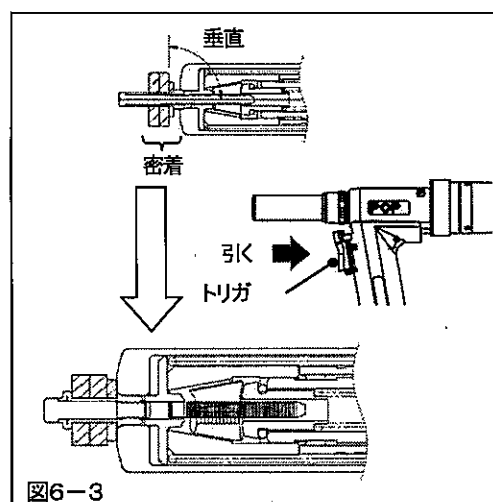


図6-3

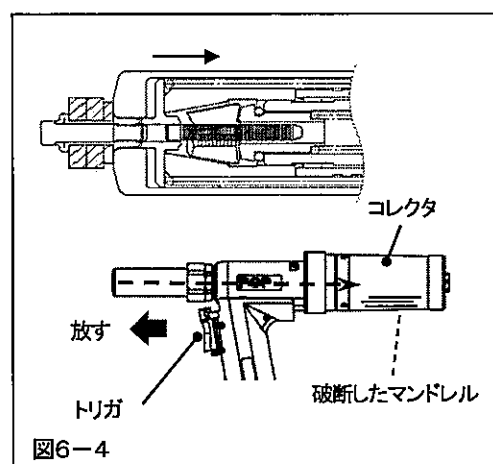


図6-4

※ リベットの選定、母材下穴径の設定等はポップリベットカタログをご参照ください。

6-2 マンドレルの廃棄

リベットの締結作業(6-1項参照)でコレクタ内に回収されたマンドレルは、コレクタの収容能力内で廃棄してください。(表6-1)

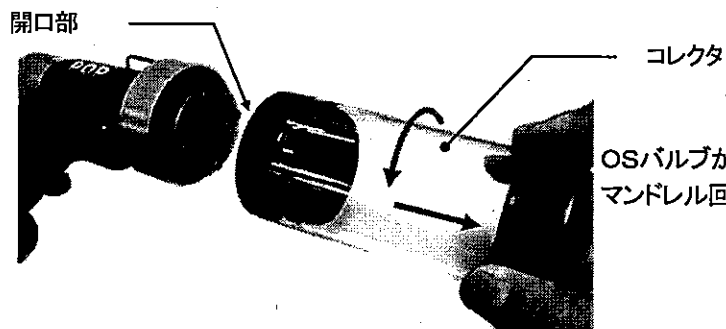
(表6-1)コレクタの収容能力

マンドレル径	収容能力
φ3.4	約 160 本

<使用方法>

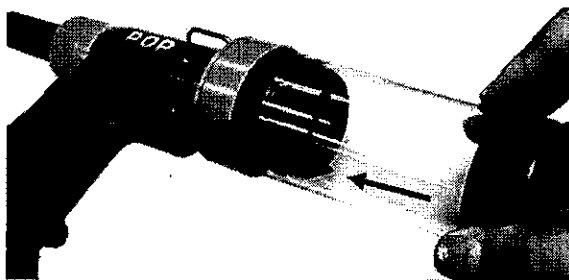
コレクタを左に回すと取り外すことができます。開口部よりマンドレルを廃棄して下さい。(図6-5)

リベット締結時は、コレクタを右にまわし、確実に装着してください。(図6-6)



OSバルブが開いた状態でも、コレクタを外すとマンドレル回収エアは自動的に停止します。

図6-5



OSバルブが開いた状態で、コレクタを取付けるとマンドレル回収エアは自動的に開始されます。

図6-6

7. 保守・点検

(表7-1)

No	項目	目的
7-1	ジョー等の先端部部品の清掃・グリスアップ	・金属粉の除去、ジョーの滑り及び噛み込みの防止 ・ジョー、ジョーケースの早期摩耗防止
7-2	アンビル、フロートピース、スプリングの交換	・損傷による交換
7-3	ジョープツシャの交換	・損傷による交換
7-4	ジョーの交換	・摩耗による交換
7-5	ジョープツシャスプリングの交換	・ヘタリ、破損による交換
7-6	MCSキャップ内の清掃	・コレクタを外しても、マンドレル回収エアが自動的に停止しない症状の復帰
7-7	コレクタサイレンサの清掃	・MCS 機能低下の防止
7-8	油圧オイルの交換	・ストローク復帰

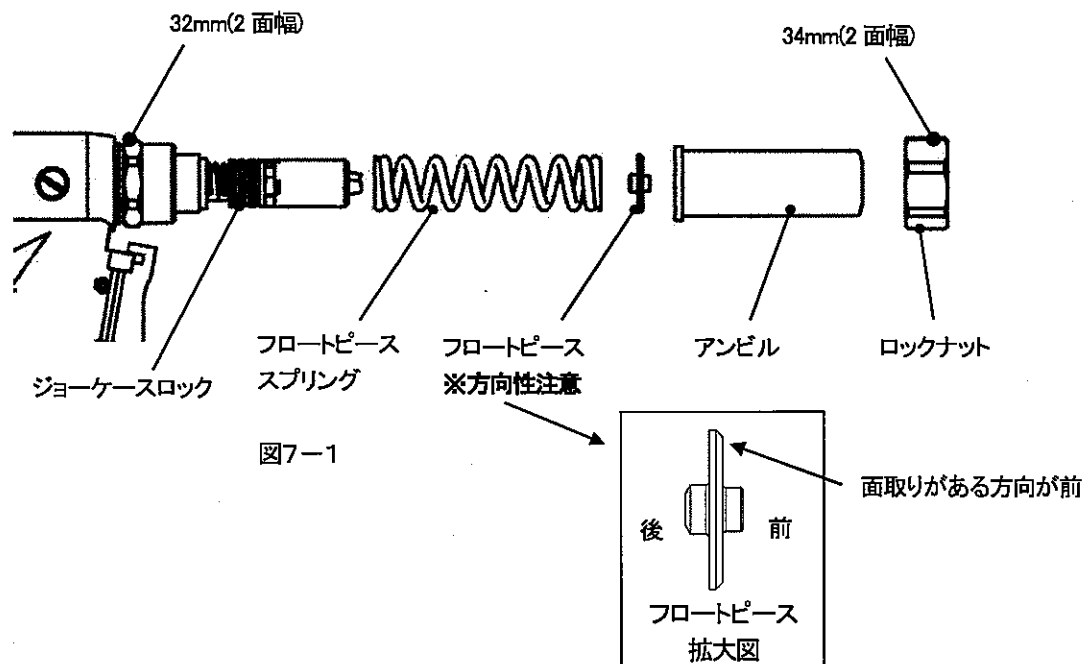
7-1. ジョー等先端部品の清掃・グリスアップ

約 5,000 本締結を目安にジョー等の先端部品の掃除・グリスアップを行ってください。

数千本締結すると金属粉が先端部に付着し、動きが悪くなったりジョーが滑ったりします。この状態で作業を続けると、ジョーの寿命が短くなります。

また、ジョー部の潤滑不良の場合、噛み込みの発生やジョー、ジョーケースの早期摩耗の原因になります。

- (1) カプラを分離する等により圧縮空気の供給を止めて下さい。
- (2) スパナを使用し、ロックナットをアンビルアダプタより取り外してください。
この時、外れてくるパーツを(図 7-1)に示します。



- (3) ジョーケースロックを手で解除し、ジョーケースをプリングヘッドから外します。(図7-2)
- (4) この時、外れてくるパーツを(図7-3)に示します。これらのパーツ及びアンビル・プリングヘッドの内部をブラシなどを使って、灯油等で洗浄・掃除します。

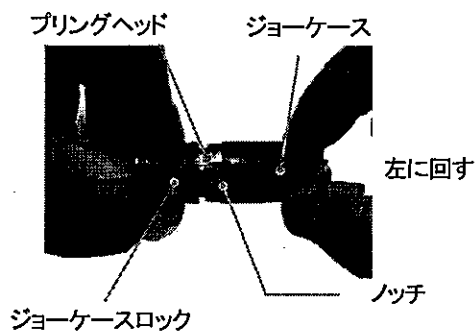


図7-2

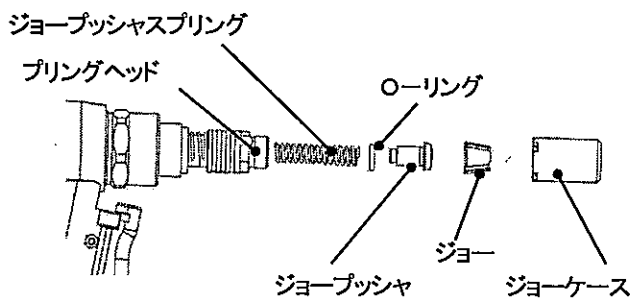


図7-3

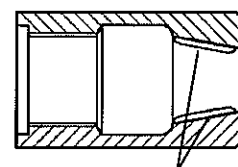
(5) ジョーケースの内側(ジョーと接する面)にグリスを十分に塗布して組み付けてください。(図7-4参照)

グリスは二硫化モリブデン系グリスの使用を推奨します。

(6) ジョーケースは手で回らなくなるまで、締め込み1ノッチ(図7-2参照)戻してください。

(7) (2)とは逆の手順でアンビル、フロートピース、スプリングを組み付けて下さい。

ジョーケース(断面)



グリス(厚さ 約1mm)

図7-4

7-2. アンビル、フロートピース、スプリングの交換

アンビル、フロートピース、スプリングが損傷した場合は、それぞれ新しいアンビル、フロートピース、スプリングと交換してください。

<手順>

(1) 7-1(P.11)の要領でジョープッシャを取り出し交換してください。

7-3. ジョープッシャ、O-リングの交換

ジョープッシャおよびO-リングが損傷した場合は、新しいジョープッシャ、O-リングと交換してください。

<手順>

(1) 7-1(P.11)の要領でジョープッシャを取り出し交換してください。

7-4. ジョーの交換

ジョーが損傷した場合、及びジョーの清掃をしてもすぐに滑るような場合(歯部の摩耗)、新しいジョーと交換してください。

<手順>

(1) 7-1(P.11)の要領でジョーを取り出し交換してください。

(2) 組み付ける前に、先端部品の清掃・グリスアップを実施してください。(P. 11 7-1参照)

7-5. ジョープッシャスプリングの交換

ジョープッシャスプリングの長さが30mm以下(新品37mm)になった場合や、破断した場合には新しいスプリングと交換してください。

<手順>

(1) 7-1(P. 11)の要領でジョープッシャスプリングを取り出し交換してください。

7-6. MCSキャップ内の清掃

使用しているとリベットの締結時に出る金属粉がMCSキャップ内に溜まり、コレクタを外してもマンドレル回収エアが自動的に停止しない場合があります。この症状が出始めましたらMCSキャップ内の清掃を行ってください。

<手順>

- (1)カプラを分離する等により、圧縮空気の供給を止めてください。
- (2)コレクタを外してください。コレクタを手で左にまわして外します。(図7-5)

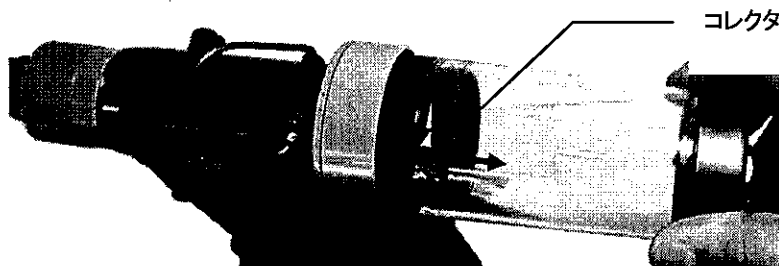


図7-5

- (3)キャップスクリュを2.5mm六角レンチで外し、エンドキャッププレートを外してください。(図7-6)
- エンドキャップ(二面巾41mm)をモンキレンチで緩め、エンドキャップを外してください。(図7-7)



図7-6

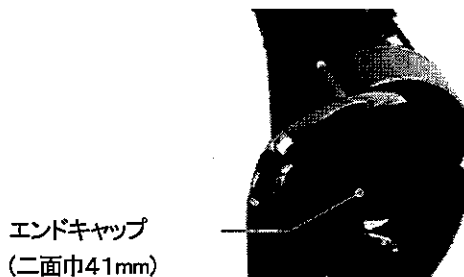


図7-7

- (4)スライダアセンブリとリタンスプリングを手で引き抜いてください。(図7-8、9)

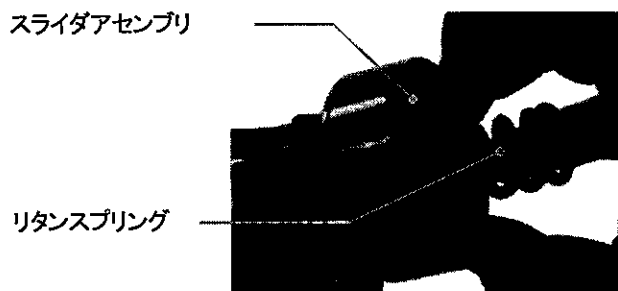


図7-8

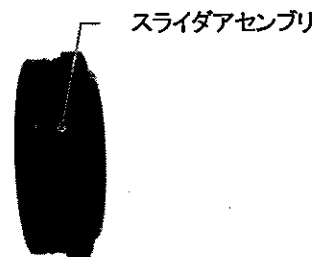


図7-9

- (5)O-リングを小さなマイナスドライバー等で外してください。スライダプッシャをずらし、内側のO-リングを外してください。その後各部品をきれいなウエス等で拭いてください。(図7-10、11)
- 部品をきれいにした後、逆の手順で組立ててください。(図7-12)

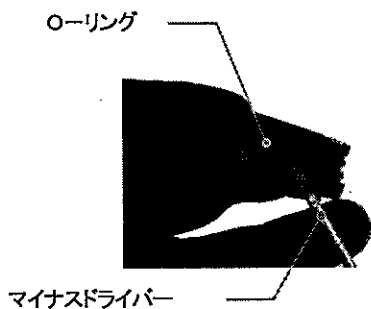


図7-10

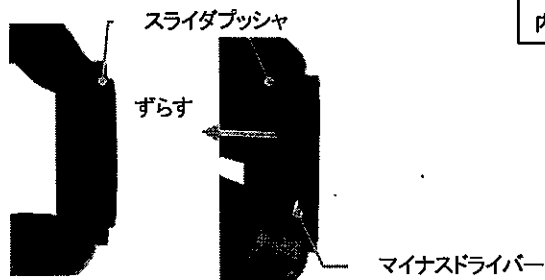


図7-11

スライダプッシャには、向きがあります。図の向きで組付けしてください。内側に段差があります。



図7-12

(6) MCSキャップを手で緩め外し、エンドキャップ周り、MCSキャップフロント等を、きれいなウエス等で拭いてください。(図7-13、14)

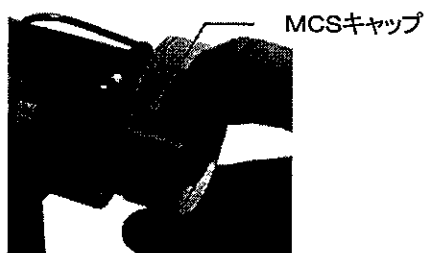


図7-13

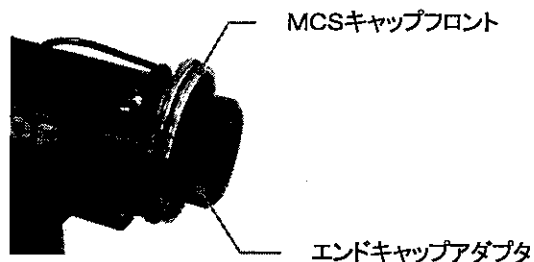


図7-14

(7) 清掃が完了した後、逆の手順で組み付けてください。

7-7. コレクタサイレンサの清掃

コレクタサイレンサが目詰まりし、破断したマンドレルが回収されなくなったり 吸引力が低下した場合は、清掃を実施してください。

<手順>

(1) コレクタエンドナットをスパナで外し、コレクタエンドキャップを手で取り外してください。

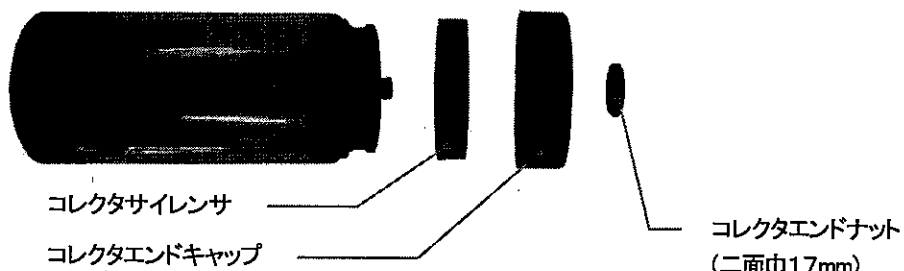


図7-15

(2) コレクタエンドキャップを外すとコレクタサイレンサが見えますので 手で外し、エアガン等でエアを吹付け 清掃してください。洗浄する場合は、薄めた中性洗剤で洗い、しっかり乾燥させてから使用してください。

(3) コレクタエンド溝部も エアガン等でエアを吹付け 清掃してください。(図7-16)

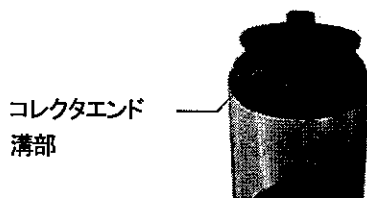


図7-16

(4) 清掃が完了した後、分解の逆順

コレクタエンドキャップの挿入時、
ドライバ等でコレクタエンドを 押

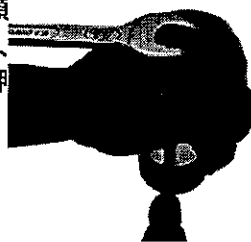


図7-17

7-8. 油圧オイルの交換

油圧オイルが減少しストローク不足になった場合(1回のトリガ操作で、ポップリベットが締結できなくなった場合)は、次の手順で油圧オイルを交換してください。

油圧オイルの交換をしても、すぐストローク不足になる場合は、シールの摩耗が原因です。修理に出してください。

<手順>

- (1) カプラを分離する等により、圧縮空気の供給を止めてください。
 - (2) コレクタ、及びアンビルを外して下さい。
 - (3) 4mm 六角レンチでキャップボルト(4本)を外してください。(図7-18)
 - (4) チャンバを上にして垂直に立て、チャンバを上方に引き抜いてください。次に、チューブアセンブリとエアピストンアセンブリを上方に引き抜いてください。(図7-10)
- スリーブ内に入っている油圧オイルを廃棄してください。

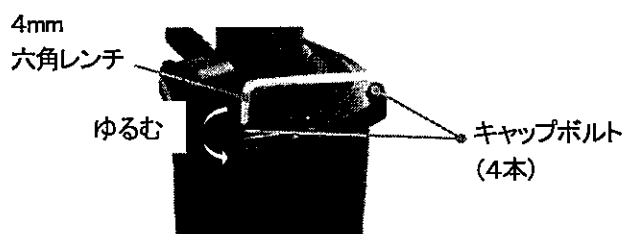


図7-18

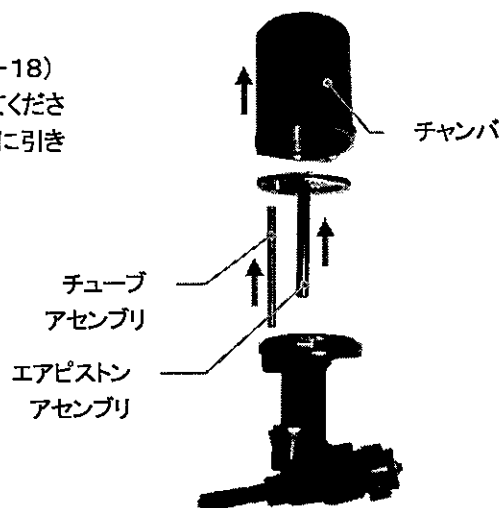


図7-19

- (5) スリーブ内に指定オイル(P.8 表5-1)を注入してください。油面がバックアップリング面になるまで注入してください。(図7-20)

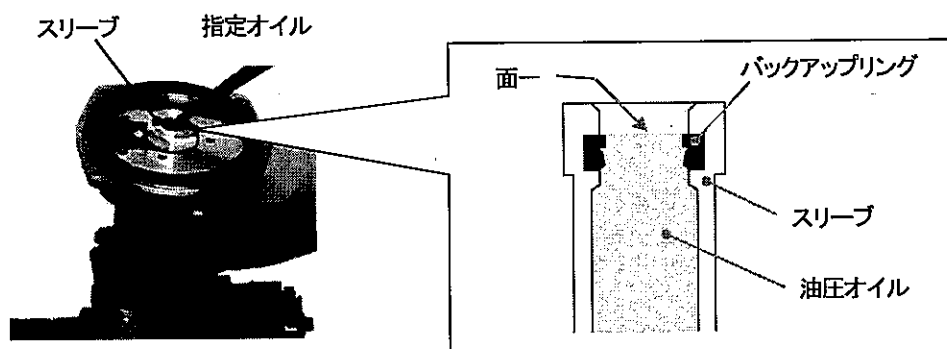


図7-20

- (6) マイナスドライバーでフィルスクリュを約3mm 緩め、エアピストンアセンブリを約半ストローク押し込み保持します。フィルスクリュ部から汚れた油圧オイルがにじみ出てきますので、この油圧オイルが出なくなるまで、保持してください。(図7-21)
- (7) フィルスクリュを仮締めし、エアピストンアセンブリを引き抜き、再度油圧オイルを(5)の要領で注入して下さい。
- (8) エアピストンアセンブリを押し込み、手で5~6回ピストン運動させた後、再度エアピストンアセンブリを引き抜き、油面を確認してください。(図7-22)
- 油面が下がっている、または空気が混入しているような場合は(7)及び(8)を繰り返してください。

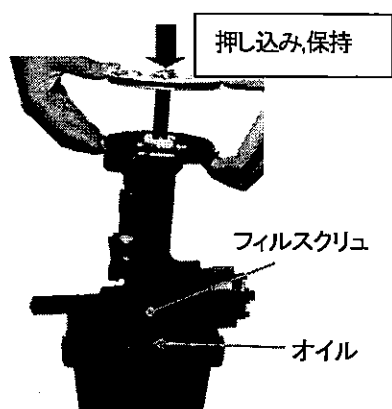


図7-21

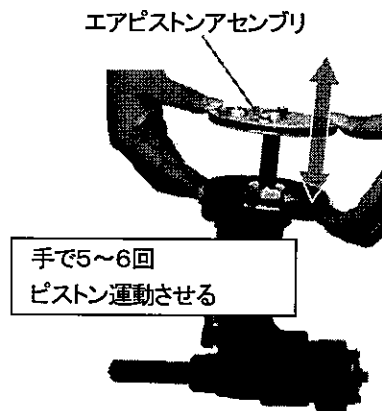


図7-22

- (9) 油圧オイルの注入が完了した後、エアピストンアセンブリを組付け、エアピストンアセンブリ部のチューブシールケースにチューブアセンブリ挿入し組付けてください。(図7-23、24)
- エアピストンアセンブリとチューブアセンブリが直立した状態で、チャンバを組み付けます。(図7-25)
- 組み付ける前に、必ずチャンバの内側にグリスを塗付してください。
- 組み付けは分解と逆の手順で行ってください。

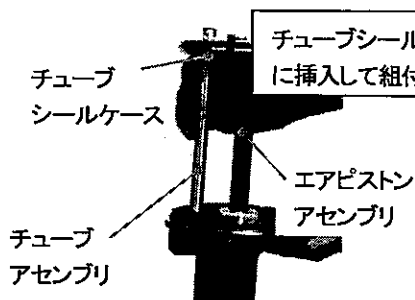


図7-23

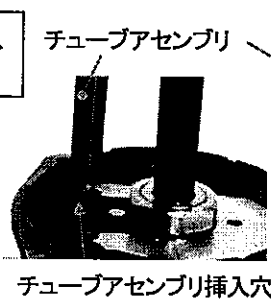


図7-24

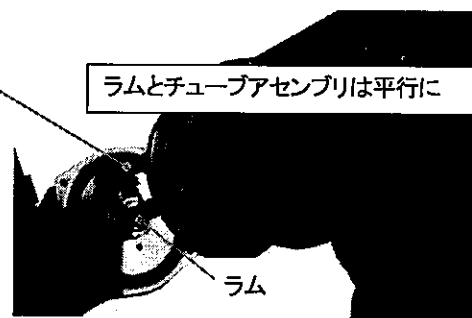


図7-25

- (10) マイナスドライバーでフィルスクリュを緩め、余分な油圧オイルと空気(気泡)を除去してください。油圧オイルが出なくなるまで放置した後、フィルスクリュを締め付けてください。(図7-14)

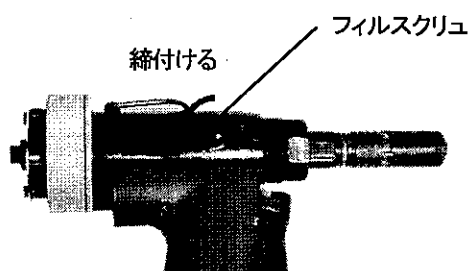
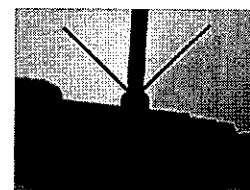
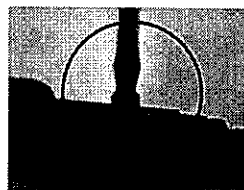


図7-26



フィルスクリュの緩め・締め付けは、大型ドライバーで行ってください。ドライバー先端部の幅・厚さが不十分ですと フィルスクリュの締め付け不足(オイル洩れ)・破損につながります。

- (11) 最後にアンビル、コレクタを組み付けてください。

※ 分解・組立時に油圧オイル内、及びチャンバ内部にごみや金属粉等が入らないように注意してください。

8. トラブルシューティング

(本内容の確認をしても直らない場合は、販売店または当社へ修理を依頼してください。)

8-1. 一覧表

現象	要因	処置
リベットがアンビルに入らない。 または、締結後マンドレルが排出できない。	1. 部品の緩み アンビル、ロックナット、ジョーケースが緩んでいる。	スパナにて、しっかりと締め付けてください。
	2. 部品の損傷 ジョー、フロートピース(ジョーとの接触部)、ジョープッシャまたはジョープッシャスプリングが損傷している。	損傷部品を新しい物と交換してください。 (P.12)
	3. アンビル内の汚れ アンビル内に金属粉等が溜まりジョーの開き不良となっている。	アンビル、ジョー等の掃除をしてください。 (P.11)
	4. ジョーとジョーケースの潤滑不良 ジョーとジョーケースの潤滑不良により噛み込み状態となっている。	ジョー等先端部品の掃除・グリスアップを行ってください。 (P.11)
	5. 油圧オイル量過剰 油圧オイルの交換後、余分な油圧オイル及び、空気の除去が不十分。	フィルスクリュを緩め、余分な油圧オイル及び空気の除去を行ってください。 (P.15)
	6. ジョープッシャ内のつまり ジョープッシャ内にマンドレル他がつまっている。	ジョープッシャを外し、つまっている物を除去してください。 (P.11、12)
MCSでマンドレルが回収されない。 (吸引力が弱い)	1. 供給空気圧力の不足	供給空気圧力の調整をしてください。 (P.6)
	2. コレクタ内にマンドレルがたまりすぎている	コレクタ内のマンドレルを廃棄してください。 (P.10)
	3. コレクタサイレンサが目詰まりしている。	コレクタサイレンサを清掃してください。 (P.14)
	5. ジョープッシャ内にマンドレル他がつまっている	ジョープッシャを外し、つまっている物を除去してください。 (P.11、P12)
一度のトリガ操作でリベットが締結できない。	1. 供給空気圧力の不足	供給空気圧力の調整をしてください。 (P.6)
	2. ジョーの滑り ジョーの歯に金属粉のつまり、または歯の摩耗により、マンドレルをつかまず滑っている。	ジョーの掃除をしてください。 掃除をしても直らない場合は、ジョーを新しい物と交換してください。 (P.11、12)
	3. ストローク不足 油圧オイルの不足または空気の混入により、ストロークが不足している。	油圧オイルの交換を行ってください。 (P.15、P.16)
	4. ジョーケースの破損	ジョーケースを交換してください。 (P.12)
	5. アンビルの損傷	アンビルを交換してください。 (P.12)
マンドレルは切れるがリベットが正常に締結できていない	1. アンビルの損傷	アンビルを交換してください。 (P.12)
コレクタを外してもマンドレル回収エアが自動的に停止しない	1. MCSキャップ内に金属粉が溜まっている。	MCSキャップ内を清掃してください。 (P.13)

締結後のリベットが アンビルから	1. ストローク不足 油圧オイルの不足または空気の混入により、スト ロークが不足している。	油圧オイルの交換を行ってください。 (P15、P16)
	2. アンビルの損傷	アンビルを交換してください。 (P12)
	3. リタンスプリングの損傷	リタンスプリングを交換してください。 (P12)

8-2. HCリベット がアンビルに噛み込んだ場合

HCリベットを空打ちしてしまうと、図8-1の様にアンビルに噛み込んでしまう事があります。
その場合は以下の方法により取り外して下さい。

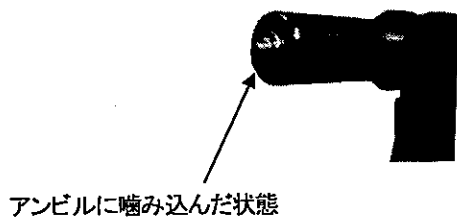


図 8-1

(1)23mm のスパナを 2 本使用し、ロックナットをアンビルアダプタより取り外して下さい。
この時、外れてくるパーツを(図 8-2)に示します。

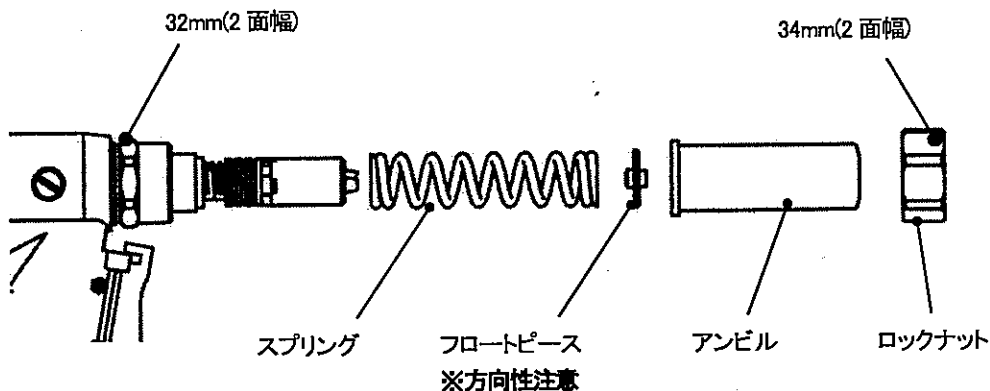


図 8-2

(2)アンビルをツールに取り付ける要領でフロートピースを組み込み、フロートピース側から付属の工具(ディスマントリングプッシャ)を挿入し(図 8-3)、ロックナットと工具を締め付けていくと噛み込んだリベットが外れます(図 8-4)。

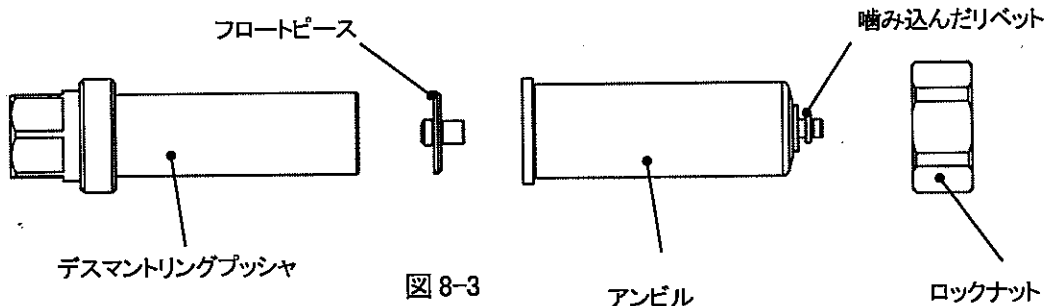


図 8-3

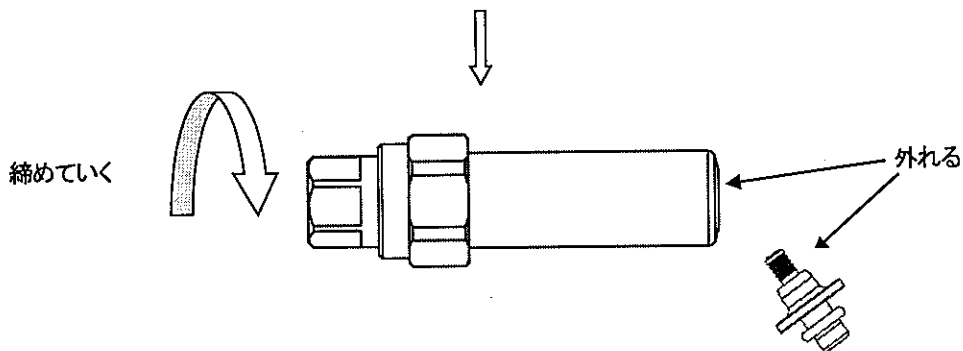


図 8-4

MEMO

9. オプション

9-1. FAN276-152 / シールキット

分解修理時に必要な使用頻度の高いO-リングを セットにしました。
このシールキットでほとんどの修理に対応出来ます。

No	部品番号	品名	員数
1	DPN900-007	O-リング (P4-1B)	1
2	DPN900-013	O-リング (S7-1A)	1
3	DPN900-059	O-リング (S26-1A)	1
4	DPN900-061	O-リング (B0280G-1A)	1
5	DPN900-062	O-リング (B0224G-1B)	1
6	DPN900-063	O-リング (P26-U8)	1
7	DPN900-064	O-リング (P26-1B)	1
8	DPN900-071	O-リング (3095-1A)	1
9	DPN900-072	O-リング (15-100-1A)	1
10	DPN900-074	O-リング (S10-1A)	2
11	DPN900-078	O-リング (15-110-1A)	2
12	DPN908-015	スクレーパ	1
13	DPN908-021	バックアップリング T2P14-PT	2
14	DPN908-022	ペンタシール PS14-RP902	2
15	DPN908-023	バックアップリング T2P26-PT141	1

MEMO

10. パーツリスト

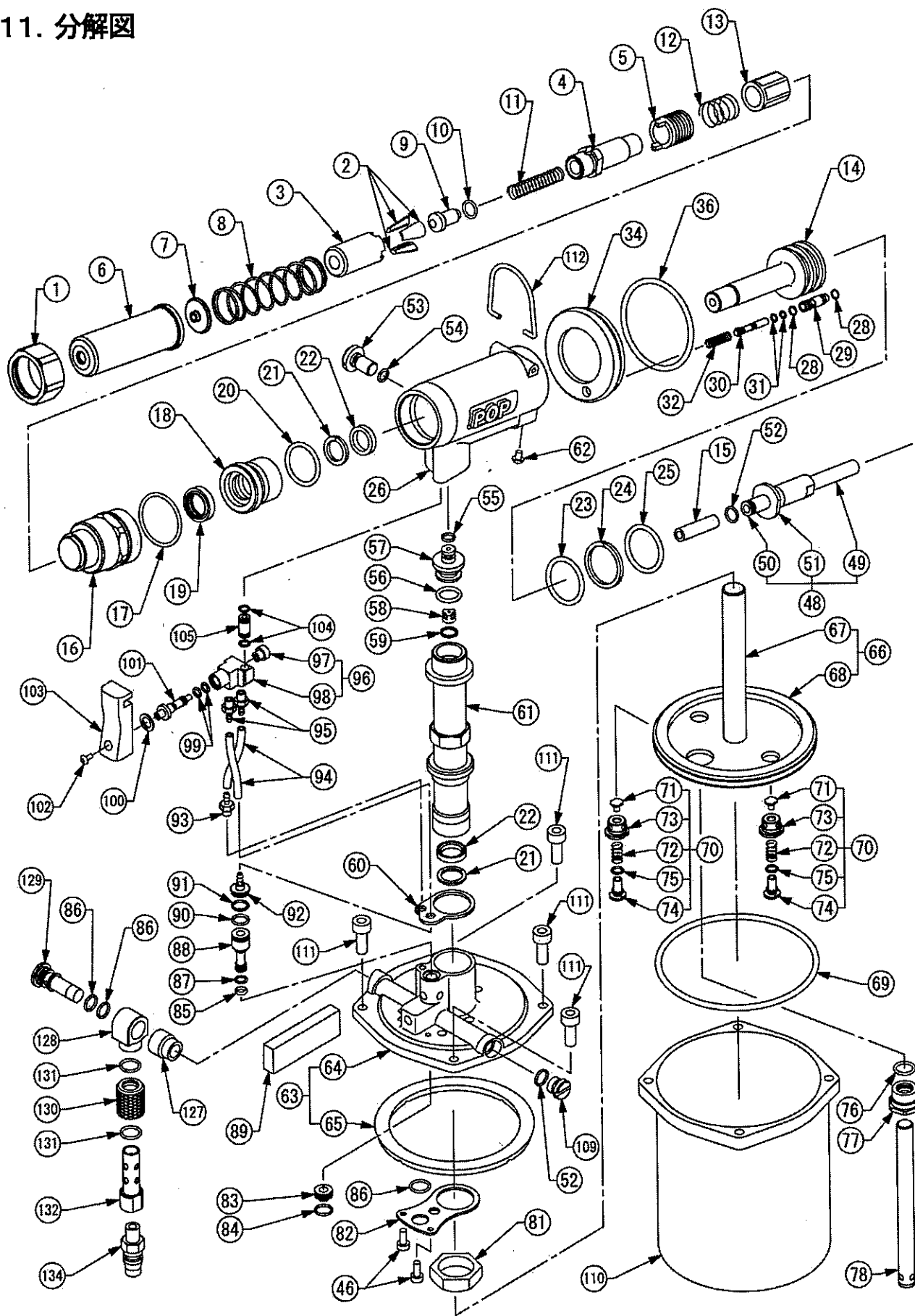
	部品番号	品名	員数
1	TP153-002	ロックナット	1
2	PRL650-01	ジョー	1
3	TP154-169	ジョーケース	1
4	DPN276-002	プリングヘッド	1
5	DPN276-003	ジョーケースロック	1
6	TP153-003	アンビル	1
7	TP154-039	フロートピース	1
8	TP154-005	フロートピーススプリング	1
9	DPN276-079	ジョープッシャ	1
10	DPN900-060	O-リング P8-U8	1
11	DPN901-019	ジョープッシャスプリング	1
12	DPN901-020	スプリング	1
13	DPN276-007	プリングヘッドジョイント	1
14	DPN276-008	ハイドロリックピストン	1
15	DPN276-009	スベーサパイプ	1
16	TP153-001	アンビルアダプタ	1
17	DPN900-061	O-リング B0280G-1A	1
18	DPN276-011	ロッドシールケース	1
19	DPN908-015	スクレーパ SER14	1
20	DPN900-062	O-リング B0224G-1B	1
21	DPN908-021	バックアップリング T2P14-PT	2
22	DPN908-022	ペンタシール PS14-RP902	2
23	DPN900-063	O-リング P26-U8	1
24	DPN908-023	バックアップリング T2P26-PT141	1
25	DPN900-064	O-リング P26-1B	1
26	DPN276-012	ハンドルアッパ	1
27	TP154-031	リタンスプリング	1
28	DPN900-065	O-リング 06-047-1A	2
29	DPN276-013	MCS バルブケース	1
30	DPN276-014	MCS バルブロッド	1
31	DPN900-066	O-リング SS020-1A	2
32	DPN901-022	スプリング 12-0531	1
33	DPN276-015	エンドキャップアダプタ	1
34	DPN276-016	MCS キャップフロント	1
35	DPN276-017	スライダ	1
36	DPN900-067	O-リング 12-481-1A	1
37	DPN276-019	MCS キャップテール	1
38	DPN900-068	O-リング P44-1A	2
39	DPN276-018	スライダプッシャ	1
40	DPN900-069	O-リング 15-400-1A	1
41	DPN276-020	エンドキャップ	1
42	DPN276-061	カラー	2
43	DPN276-021	カラースクリュ	2
44	DPN276-023	エジェクタガイド	1
45	DPN900-013	O-リング S7-1A	1
46	DPN907-002	キャップスクリュ M3-6	6
47	DPN276-024	エンドキャッププレート	1
48	FAN276-022	エジェクタ	1
49	DPN276-025	エジェクタノズル	1
50	DPN276-026	エジェクタボディ	1
51	DPN276-027	エジェクタロック	1
52	DPN900-045	O-リング SS060-1A	2

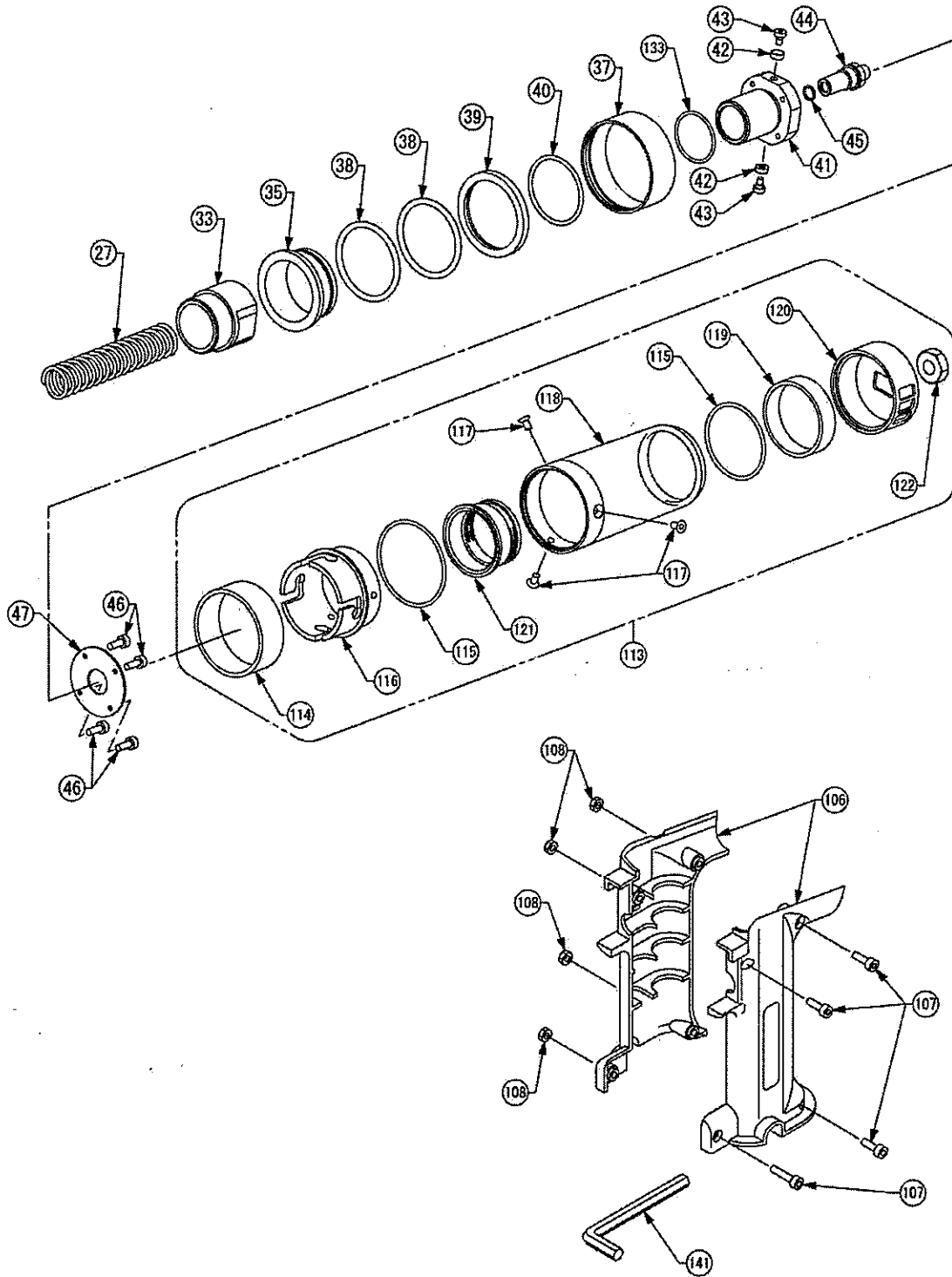
No.	部品番号	品名	員数
53	DPN239-047	フィルスクリュ	1
54	DPN900-007	O-リング P4-1B	1
55	DPN900-070	O-リング P6-U5	1
56	DPN900-036	O-リング P11-U5	1
57	DPN276-028	スリーブアッパ	1
58	DPN276-029	リストリクタ	1
59	DPN902-002	リティニグリング RTW8	1
60	DPN276-030	アッパプレート	1
61	DPN276-031	スリーブロア	1
62	DPN276-085	ナベ小ネジ M2.5-3	1
63	FAN276-033	ハンドルロアアセンブリ	1
64	DPN276-034	ハンドルロア	1
65	DPN276-035	パンパ	1
66	FAN276-036	エアピストンアセンブリ	1
67	DPN276-037	ラム	1
68	DPN276-038	エアピストン	1
69	DPN900-071	O-リング 3095-1A	1
70	FAN275-022	EXT バルブ	2
71	DPN275-025	EXT バルブヘッド	2
72	DPN901-008	EXT バルブスプリング	2
73	DPN275-024	EXT バルブケース	2
74	DPN275-023	EXT バルブロッド	2
75	DPN900-030	O-リング P5-1A	2
76	DPN900-072	O-リング 15-100-1A	1
77	DPN276-039	チューブシールケース	1
78	FAN276-040	チューブアセンブリ	1
79	DPN276-041	チューブエンド	1
80	DPN276-042	チューブ	1
81	DPN276-043	スリーブロックナット	1
82	DPN276-044	ボトムプレート	1
83	DPN276-045	Jバルブキャップ	1
84	DPN900-073	O-リング SS070-1A	1
85	DPN900-012	O-リング S4-1A	1
86	DPN900-074	O-リング S10-1A	3
87	DPN900-035	O-リング P5-U5	1
88	DPN276-046	Jバルブロッド	1
89	DPN239-069	EXT サイレンサ	1
90	DPN900-075	O-リング 16-071-1A	1
91	DPN900-076	O-リング SS080-1A	1
92	DPN276-047	Jバルブフィッティング	1
93	DPN276-048	H.L フィッティング	1
94	DPN276-049	エアチューブ	2
95	DPN239-120	フィッティング LC0535-M5	2
96	FAN239-074	Sバルブケースアセンブリ	1
97	DPN239-075	Sバルブエンド	1
98	DPN239-076	Sバルブケース	1
99	DPN900-014	O-リング S3-1A	2
100	DPN902-001	リティニグリング RTW9	1
101	DPN239-078	Sバルブロッド	1
102	DPN906-001	ボタンボルト M3-6	1
103	DPN239-150	トリガ	1
104	DPN900-015	O-リング SS040-1A	2

No.	部品番号	品名	員数
105	DPN239-083	コネクチューブ	1
106	DPN276-050	ハンドル RL	1
107	DPN907-001	キャップスクリュ M3-10	4
108	DPN239-086	六角 M3	4
109	DPN276-051	プラグ	
110	DPN276-052	チャンバ	1
111	DPN907-009	フランジ付キャップスクリュ M5X14	4
112	DPN276-063	フック	1
113	FAN276-055	コレクタ	1
114	DPN276-056	コレクタロックカラー	1
115	DPN900-077	O-リング 15-460-1A	2
116	DPN276-057	コレクタロック	1
117	DPN903-001	皿小ネジ M3-5	3
118	DPN276-058	コレクタボディ	1
119	DPN276-059	コレクタサイレンサ	1
120	DPN276-060	コレクタエンドキャップ	1
121	DPN276-062	コレクタエンド	1
122	DPN239-152	コレクタエンドナット	1
127	DPN276-053	R ジョイントスペーサ	1
128	DPN276-076	R ジョイント	1
129	DPN276-054	R ジョイントアダプタ	1
130	DPN276-078	OS スライダ	1
131	DPN900-078	O-リング 15-110-1B	2
132	DPN276-077	OS ジョイント	1
133	DPN900-080	O-リング 15-255-1A	1
134	AN500-72	ニップル	1

No.	部品番号	品名	員数
付属品			
141	DPN239-139	六角棒レンチ 4mm	1

11. 分解图





MEMO

修理依頼書

POP

ポップリベット・ファスナー株式会社 豊橋工場物流部 行
 豊橋工場 → cc: 弊社営業担当者
 〒441-8540 愛知県豊橋市野依町字細田
 ポップリベット・ファスナー(株) 豊橋工場 物流部
 TEL 0532-25-8855

Avdel®

ポップリベット・ファスナー株式会社 工具修理課 行
 工具修理課 → cc: 弊社営業担当者
 〒820-0111 福岡県飯塚市有安1025-7
 ポップリベット・ファスナー(株) 工具修理課
 TEL 0948-31-1956 FAX 0948-31-1960

発送日 年 月 日

御社名			
御住所			
担当者			
電話		FAX	

御名刺を貼り付けていただければ幸いです。

弊社営業者	
-------	--

弊社営業担当者名を記載いただければ幸いです。

- ・ 工具は出来る限り、すべての部品が組付けられた状態でご送付願います。
- ・ 誠に申し訳ありませんが、工具に御社名を記入したエフを添付していただくと、有難いです。
- ・ 御使用の、リベット 或いは、ナットを、20程度添付して頂きますようお願い申し上げます。

※ 修理の中には単なる消耗部品の交換だけで済んでしまうこともあります。
 不具合原因の追求にはすべての部品が組付けられている状態であれば原因が発見できないことがあります。

工具形式						工具付属品(アブデルツールのみ)
シリアル番号						<input type="checkbox"/> エアーホース
使用リベット/ナット						<input type="checkbox"/> カプラー
締結本数/条件	本/日	本/月	板厚		下穴径	<input type="checkbox"/> ノーズアッセイ式
不具合内容	<input type="checkbox"/> 工具は作動するが 締結できない		<input type="checkbox"/> その他			<input type="checkbox"/> ノーズケーシング
	<input type="checkbox"/> トリガーを引いても作動しない					<input type="checkbox"/> ノーズチップ
	<input type="checkbox"/> 一度引きで締結出来ていたのが二度引きになった					<input type="checkbox"/> ドライシャフト
	<input type="checkbox"/> オイル/エアー漏れ (漏れ箇所)					<input type="checkbox"/> フロントジョー
修理要望	早期不具合 前回修理後					
	① 約 日後に故障発生 ② 締結本数 約 個で故障発生					
返却先	<input type="checkbox"/> オーバーホール					
	* 希望される修理内容を、なるべく詳しく御記入ください。					
返却先	返送先が上記住所以外へ発送する場合は必ずご記入ください					
	発送先会社名	発送先住所			電話	
	担当者				FAX	

弊社記入欄	受付番号/管理番号	受付日	修理完成日

ポップリベット・ファスナー株式会社

NIPPON POP RIVETS AND FASTENERS LTD.

■ 本 社	／ 東京都千代田区紀尾井町3-6(紀尾井町パークビル8F)	〒102-0094	Tel 03-3265-7291 (代)
■ 営業部門(ポップリベット・ポップナット・カレイナット・ウェルナット・フラットナット等)			
東京営業所	／ 東京都千代田区紀尾井町3-6(紀尾井町パークビル8F)	〒102-0094	Tel 03-3265-7291 (代)
栃木営業所	／ 栃木県宇都宮市平出工業団地9-23	〒321-0905	Tel 028-613-5021 (代)
北陸営業所	／ 富山県高岡市京田462-1	〒933-0874	Tel 0766-25-7177 (代)
豊橋営業所	／ 愛知県豊橋市野依町字細田	〒441-8540	Tel 0532-25-1126 (代)
中部営業所	／ 愛知県名古屋市名東区亀の井2-269	〒465-0094	Tel 052-709-4600 (代)
大阪営業所	／ 大阪府大阪市淀川区西中島6-11-25(第10新大阪ビル1F)	〒532-0011	Tel 06-7668-1523 (代)
広島営業所	／ 広島県広島市東区光町1-10-19(日本生命広島光町ビル5F)	〒732-0052	Tel 082-568-5002 (代)
九州営業所	／ 福岡県飯塚市有安1025-7	〒820-0111	Tel 0948-88-8460 (代)
鈴鹿出張所	／ 三重県鈴鹿市西条4-48(西條ビルディング)	〒513-0809	
■ 工 場 豊橋工場	／ 愛知県豊橋市野依町字細田	〒441-8540	Tel 0532-25-1126 (代)

●仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

2015.11.16 改訂